

令和3年度 第6回市政モニターアンケート
安全安心街づくりに関する意識調査報告書

令和4年3月

仙台市市民局生活安全安心部市民生活課

1 調査目的

仙台市安全安心街づくり基本計画（第4期、令和3～7年度）における成果目標として、「防犯活動に参加又は参加意欲のある市民の増加」（令和7年度時点で「防犯活動に参加又は参加意欲がある」と回答する市民の割合が60%以上）を掲げており、市政モニターアンケートを通じて、市民意識調査を行う。

2 調査対象

令和3年度市政モニター(200名)

3 調査時期

令和3年12月15日（水）から令和3年12月28日（火）まで

4 調査実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

5 回収結果

有効回答票 190（回答率 95%）

6 集計結果の留意事項

複数の選択肢を選択する問いの回答割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者数（n）で除したものとしている。

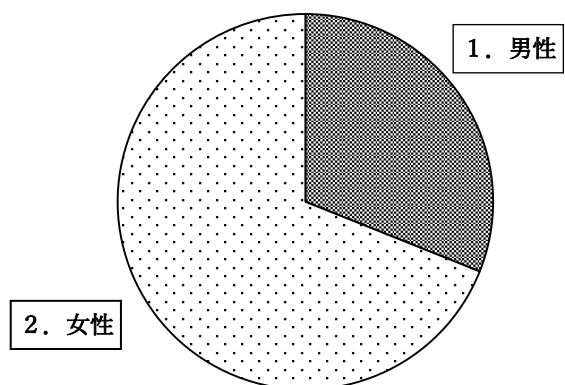
なお、すべての方が一つを選択する問いで、回答数の合計（n）が有効回答数190未満の場合は、未回答のケースである。

7 調査結果

I. あなたご自身とお住まいについて ※問1～4の必須項目のみ

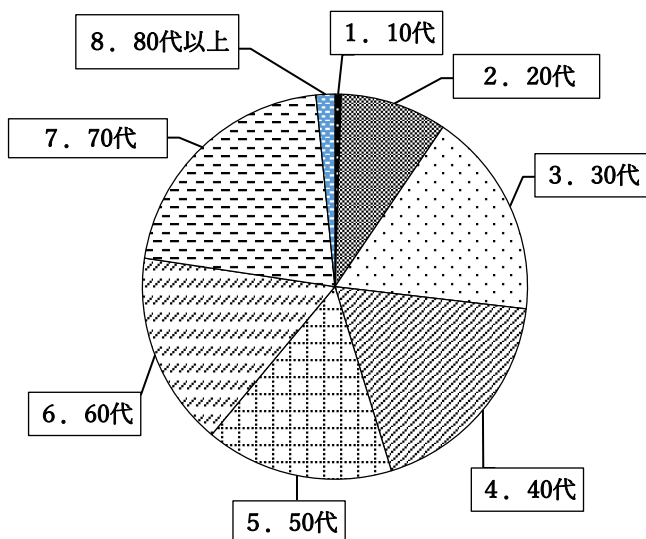
問1 あなたの性別を教えてください。(n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 男性	59	31.1%
2. 女性	131	68.9%
合 計	190	100.0%



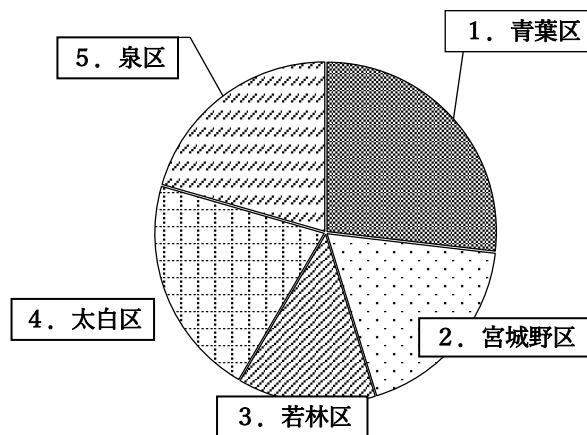
問2 あなたの年齢について教えてください。(n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 10代	1	0.5%
2. 20代	17	8.9%
3. 30代	33	17.4%
4. 40代	35	18.4%
5. 50代	30	15.8%
6. 60代	31	16.3%
7. 70代	40	21.1%
8. 80代以上	3	1.6%
合 計	190	100.0%



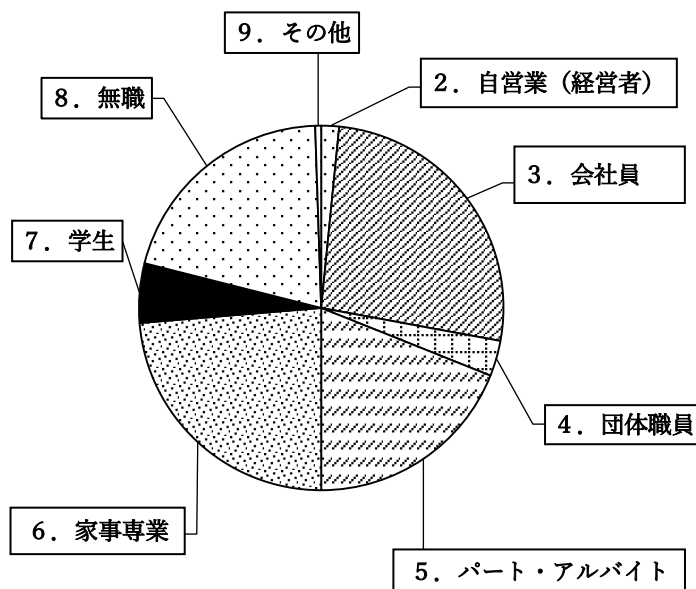
問3 あなたがお住まいの区を教えてください。(n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 青葉区	51	26.8%
2. 宮城野区	35	18.4%
3. 若林区	25	13.2%
4. 太白区	40	21.1%
5. 泉区	39	20.5%
合 計	190	100.0%



問4 あなたの職業を教えてください。(n=190)

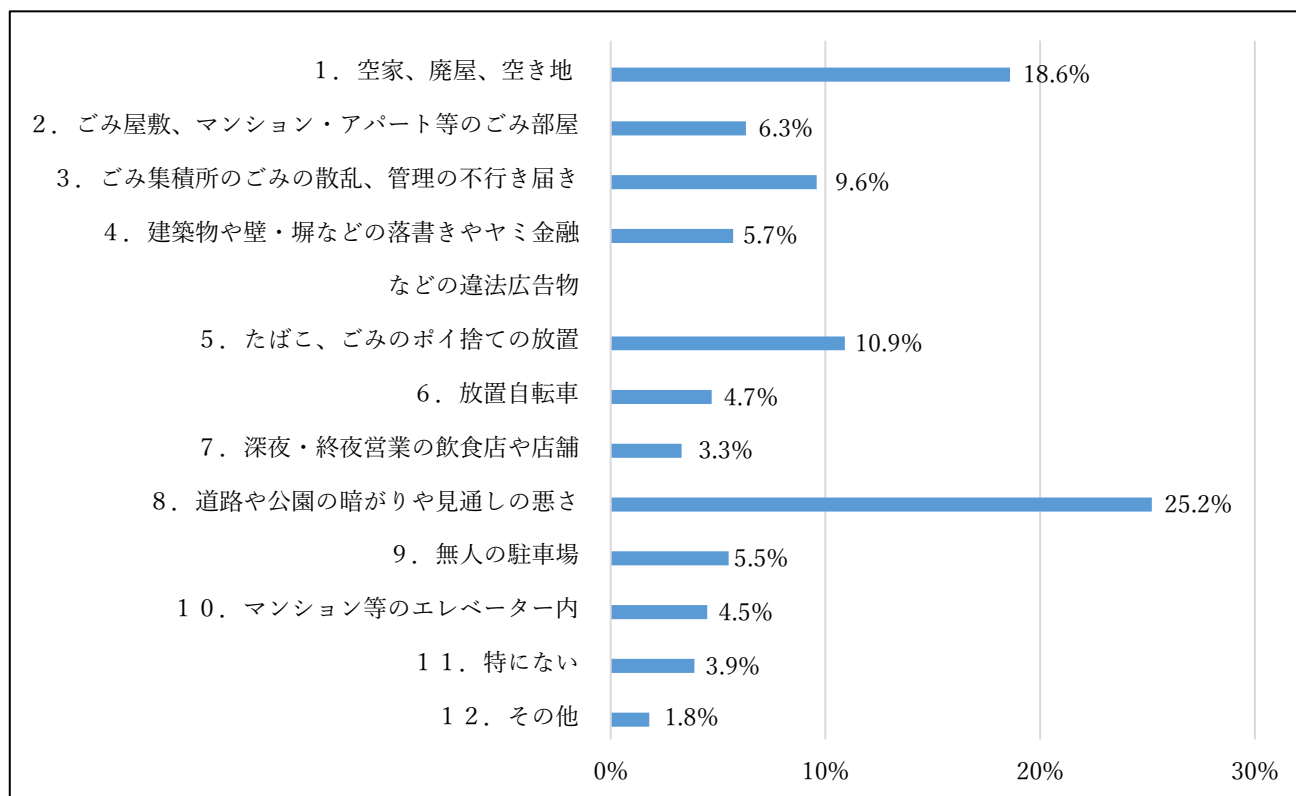
選択肢	回答数	割合
1. 農林漁業	0	0%
2. 自営業（経営者）	3	1.6%
3. 会社員	50	26.3%
4. 団体職員	6	3.2%
5. パート・アルバイト	36	18.9%
6. 家事専業	45	23.7%
7. 学生	10	5.3%
8. 無職	39	20.5%
9. その他	1	0.5%
合 計	190	100.0%



II. 個人や地域の防犯対策についてお伺いします

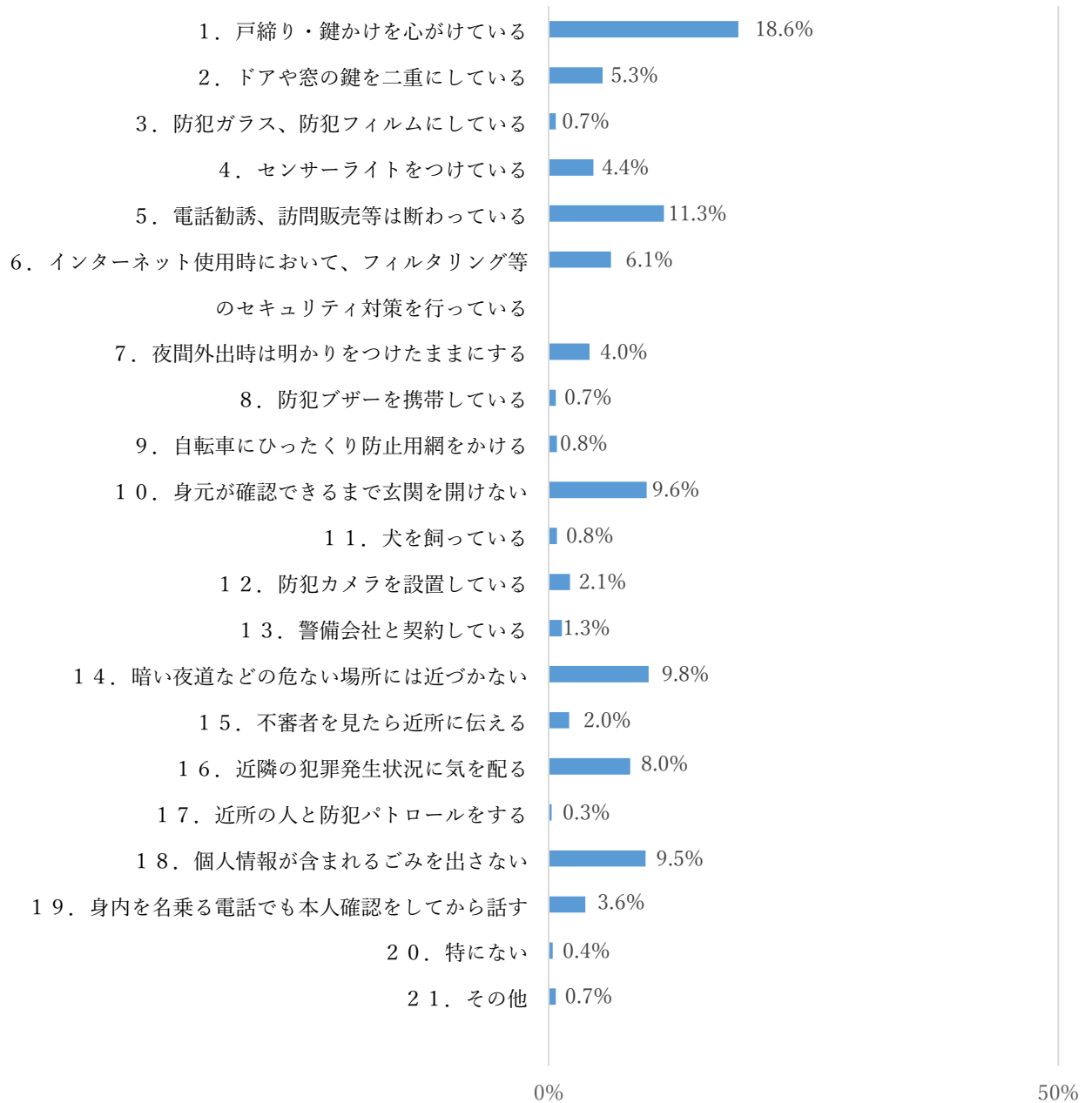
問8 あなたのお住まいの地域で、犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものは、次のうちどれですか。(☑はいくつでも) (n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 空家、廃屋、空き地	91	18.6%
2. ごみ屋敷、マンション・アパート等のごみ部屋	31	6.3%
3. ごみ集積所のごみの散乱、管理の不行き届き	47	9.6%
4. 建築物や壁・塀などの落書きやヤミ金融などの違法広告物	28	5.7%
5. たばこ、ごみのポイ捨ての放置	53	10.9%
6. 放置自転車	23	4.7%
7. 深夜・終夜営業の飲食店や店舗	16	3.3%
8. 道路や公園の暗がりや見通しの悪さ	123	25.2%
9. 無人の駐車場	27	5.5%
10. マンション等のエレベーター内	22	4.5%
11. 特にない	19	3.9%
12. その他	9	1.8%
合計	489	100.0%



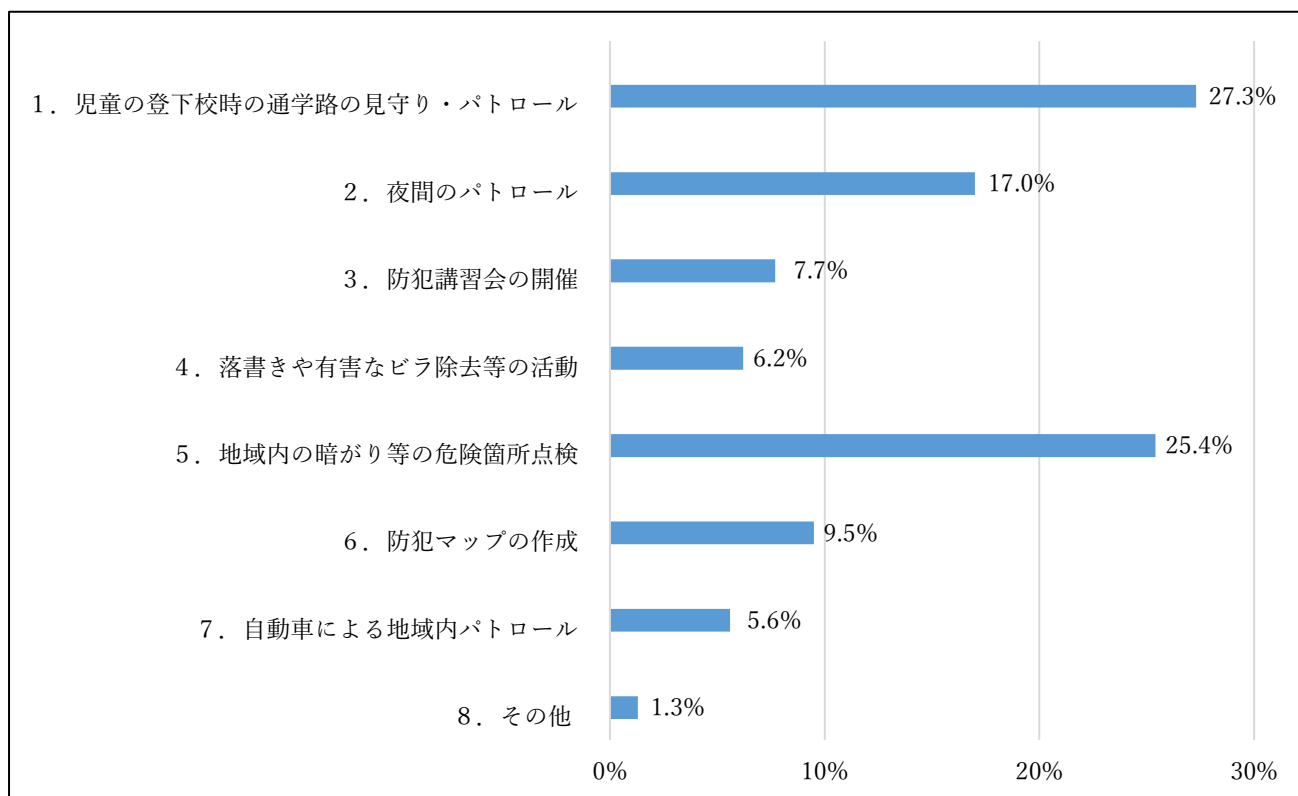
問9 あなたが犯罪被害に遭わないために、日頃から取り組んでいることは次のうちどれですか。
はいくつでも) (n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 戸締り・鍵かけを心がけている	177	18.6%
2. ドアや窓の鍵を二重にしている	50	5.3%
3. 防犯ガラス、防犯フィルムにしている	7	0.7%
4. センサーライトをつけている	42	4.4%
5. 電話勧誘、訪問販売等は断わっている	107	11.3%
6. インターネット使用時において、フィルタリング等のセキュリティ対策を行っている	58	6.1%
7. 夜間外出時は明かりをつけたままにする	38	4.0%
8. 防犯ブザーを携帯している	7	0.7%
9. 自転車にひたたくり防止用網をかける	8	0.8%
10. 身元が確認できるまで玄関を開けない	91	9.6%
11. 犬を飼っている	8	0.8%
12. 防犯カメラを設置している	20	2.1%
13. 警備会社と契約している	12	1.3%
14. 暗い夜道などの危ない場所には近づかない	93	9.8%
15. 不審者を見たら近所に伝える	19	2.0%
16. 近隣の犯罪発生状況に気を配る	76	8.0%
17. 近所の人と防犯パトロールをする	3	0.3%
18. 個人情報が含まれるごみを出さない	90	9.5%
19. 身内を名乗る電話でも本人確認をしてから話す	34	3.6%
20. 特にない	4	0.4%
21. その他	7	0.7%
合 計	951	100.0%



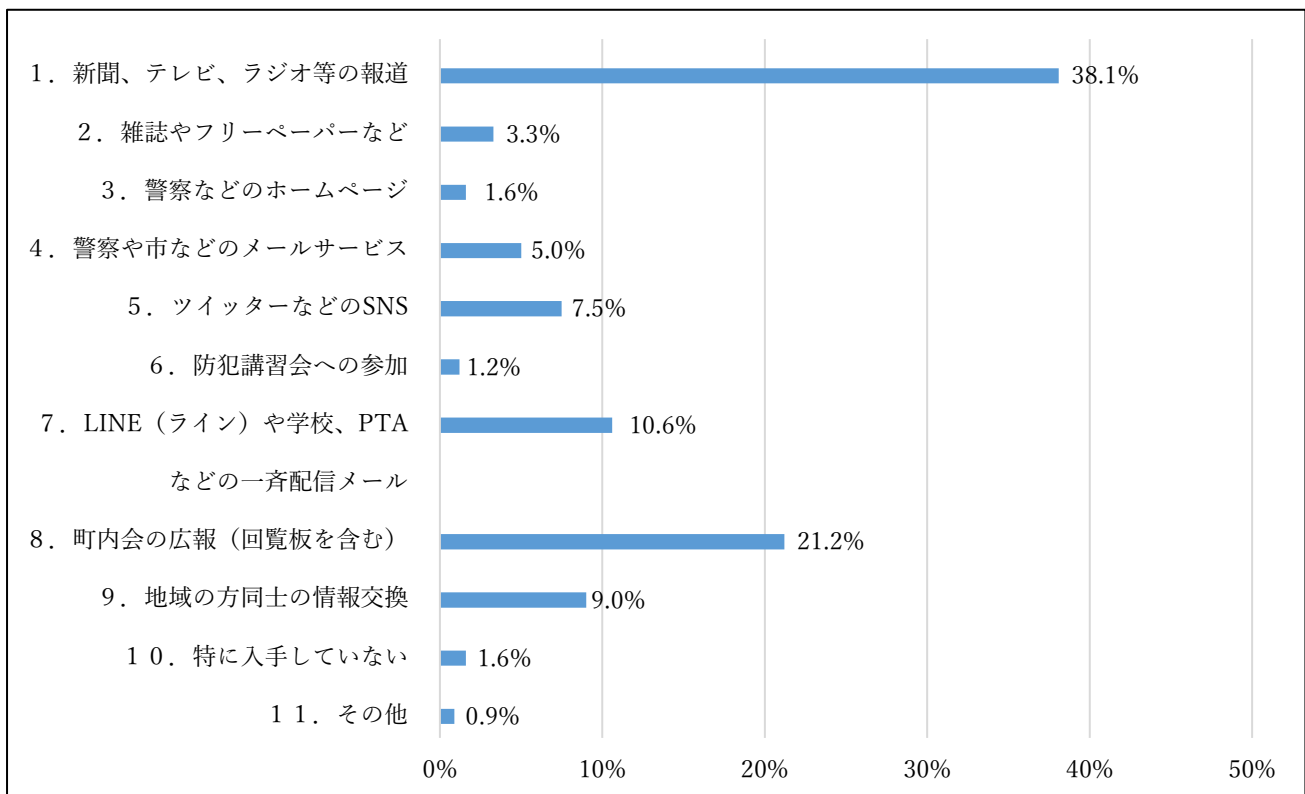
問 10 あなたは、地域の防犯力を高めるために、地域でどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(☑は3つまで) (n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 児童の登下校時の通学路の見守り・パトロール	127	27.3%
2. 夜間のパトロール	79	17.0%
3. 防犯講習会の開催	36	7.7%
4. 落書きや有害なビラ除去等の活動	29	6.2%
5. 地域内の暗がり等の危険箇所点検	118	25.4%
6. 防犯マップの作成	44	9.5%
7. 自動車による地域内パトロール	26	5.6%
8. その他	6	1.3%
合 計	465	100.0%



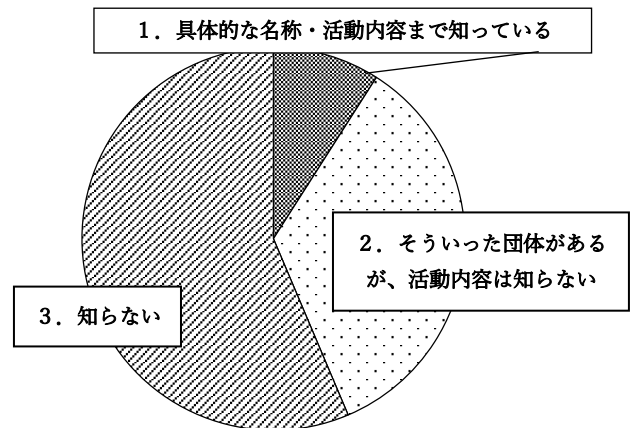
問 11 あなたは、普段どのように防犯に関する情報を入手していますか。(☑は3つまで)(n=190)

選択肢	回答数	割合
1. 新聞、テレビ、ラジオ等の報道	162	38.1%
2. 雑誌やフリーペーパーなど	14	3.3%
3. 警察などのホームページ	7	1.6%
4. 警察や市などのメールサービス	21	5.0%
5. ツイッターなどの SNS	32	7.5%
6. 防犯講習会への参加	5	1.2%
7. LINE (ライン) や学校、PTA などの一斉配信メール	45	10.6%
8. 町内会の広報 (回覧板を含む)	90	21.2%
9. 地域の方同士の情報交換	38	9.0%
10. 特に入手していない	7	1.6%
11. その他	4	0.9%
合 計	425	100.0%



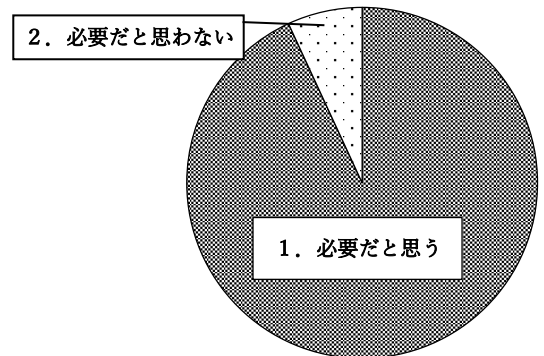
問 12 あなたがお住まいの地域の「防犯協会」という組織を知っていますか。(☑は1つ) (n=188)

選択肢	回答数	割合
1. 具体的な名称・活動内容まで知っている	17	9.0%
2. そういった団体があるが活動内容は知らない	65	34.6%
3. 知らない	106	56.4%
合 計	188	100.0%



問 13-1 あなたは、地域の防犯活動は必要だと思いますか。(☑は1つ) (n=188)

選択肢	回答数	割合
1. 必要だと思う	175	93.1%
2. 必要だと思わない	13	6.9%
合 計	188	100.0%

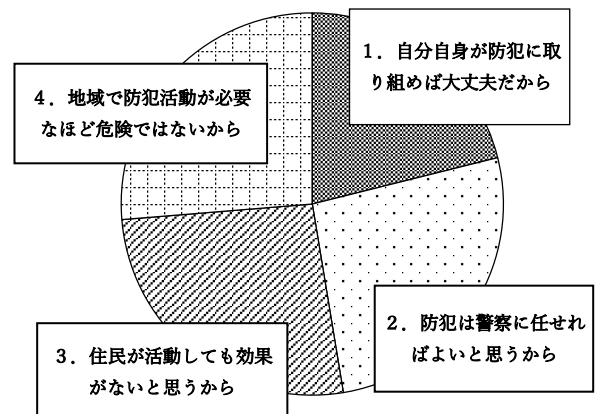


【問 13-1 で「2.必要だと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問 13-2 地域の防犯活動が必要だと思わないその理由を教えてください。

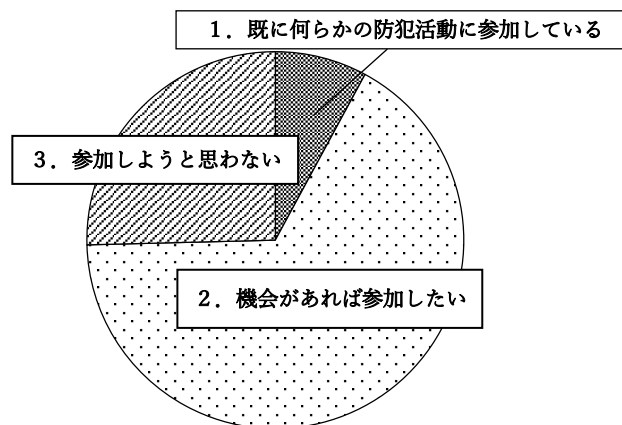
(☑はいくつでも) (n=13)

選択肢	回答数	割合
1. 自分自身が防犯に取り組めば大丈夫だから	4	21.1%
2. 防犯は警察に任せればよいと思うから	5	26.3%
3. 住民が活動しても効果がないと思うから	5	26.3%
4. 地域で防犯活動が必要なほど危険ではないから	5	26.3%
5. その他	0	0%
合 計	19	100.0%



問 14 あなたは、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。(☑は1つ) (n=189)

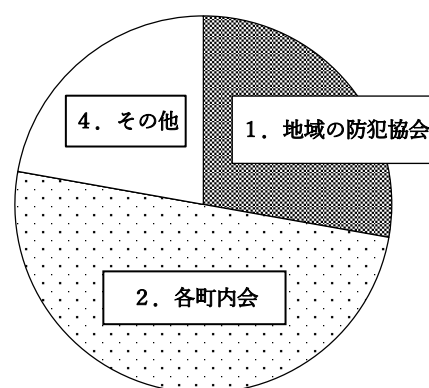
選択肢	回答数	割合
1. 既に何らかの防犯活動に参加している	15	7.9%
2. 機会があれば参加したい	126	66.7%
3. 参加しようと思わない	48	25.4%
合 計	189	100.0%



【問 14-1、14-2、14-3 は、問 14 で「1. 既に何らかの防犯活動に参加している」と答えた方へおたずねします。】

問 14-1 主にどのような団体の防犯活動に参加していますか。(☑はいくつでも) (n=15)

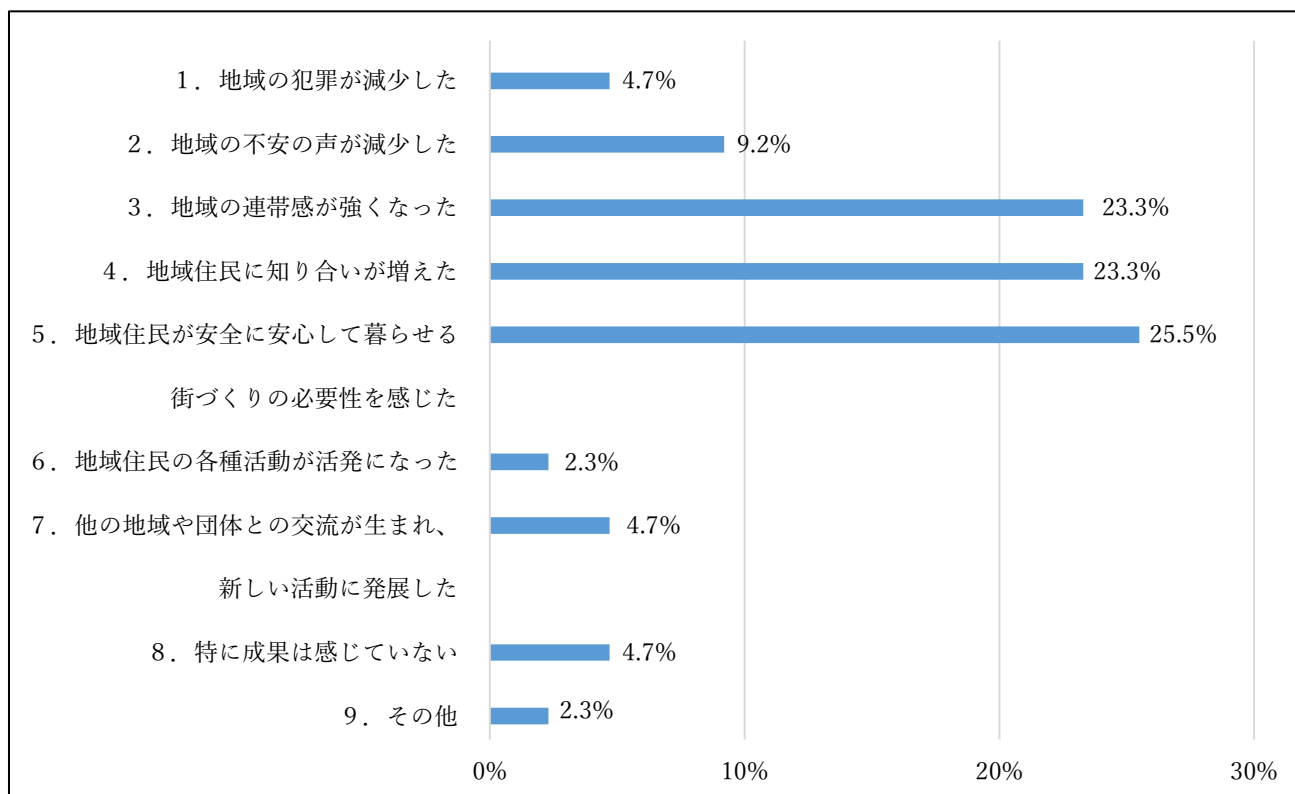
選択肢	回答数	割合
1. 地域の防犯協会	5	27.8%
2. 各町内会	9	50.0%
3. NPO などの団体	0	0.0%
4. その他	4	22.2%
合 計	18	100.0%



問 14-2 防犯活動に参加してどのような成果があったと感じていますか。

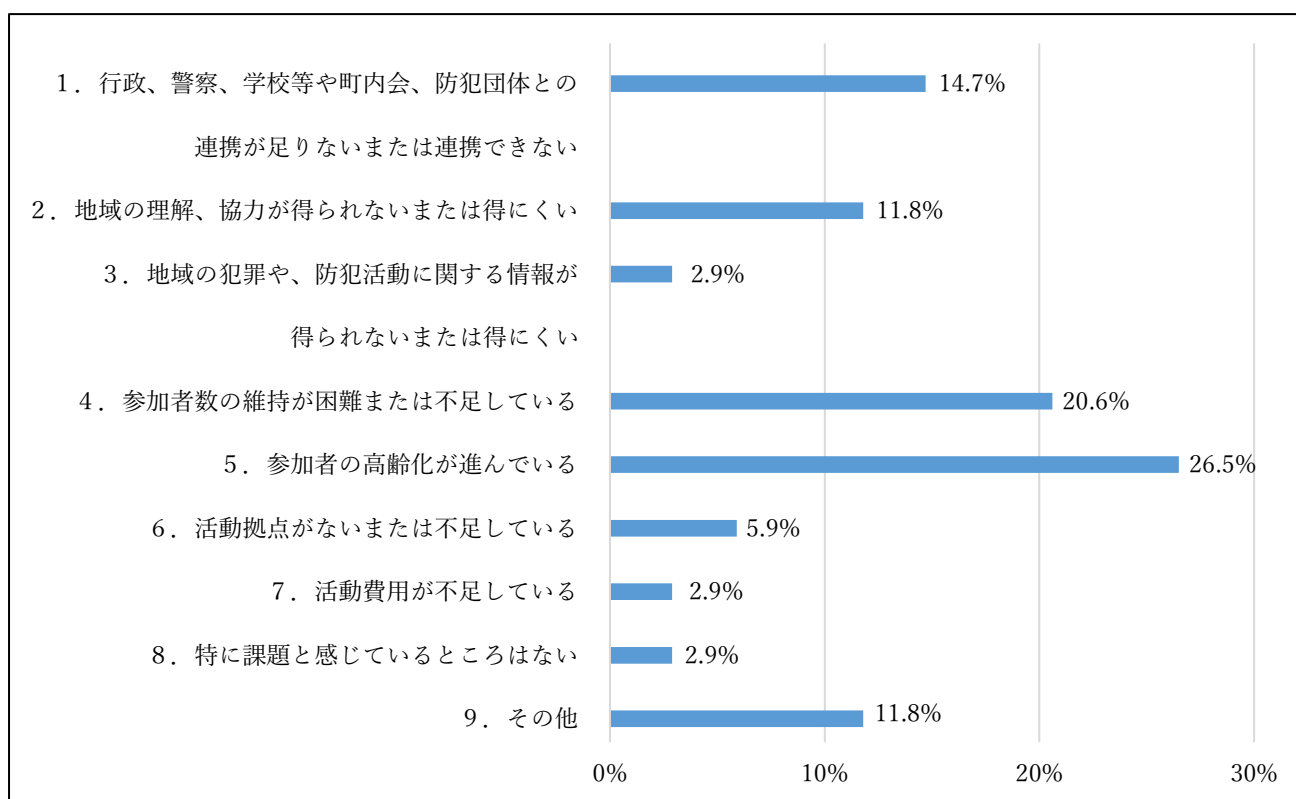
(☑はいくつでも) (n=15)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の犯罪が減少した	2	4.7%
2. 地域の不安の声が減少した	4	9.2%
3. 地域の連帯感が強くなった	10	23.3%
4. 地域住民に知り合いが増えた	10	23.3%
5. 地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりの必要性を感じた	11	25.5%
6. 地域住民の各種活動が活発になった	1	2.3%
7. 他の地域や団体との交流が生まれ、新しい活動に発展した	2	4.7%
8. 特に成果は感じていない	2	4.7%
9. その他	1	2.3%
合 計	43	100.0%



問 14-3 参加してみて感じた、防犯活動の課題をお答えください。(☑はいくつでも) (n=15)

選択肢	回答数	割合
1. 行政、警察、学校等や町内会、防犯団体との連携が足りないまたは連携できない	5	14.7%
2. 地域の理解、協力が得られないまたは得にくい	4	11.8%
3. 地域の犯罪や、防犯活動に関する情報が得られないまたは得にくい	1	2.9%
4. 参加者数の維持が困難または不足している	7	20.6%
5. 参加者の高齢化が進んでいる	9	26.5%
6. 活動拠点がなくまたは不足している	2	5.9%
7. 活動費用が不足している	1	2.9%
8. 特に課題と感じているところはない	1	2.9%
9. その他	4	11.8%
合 計	34	100.0%

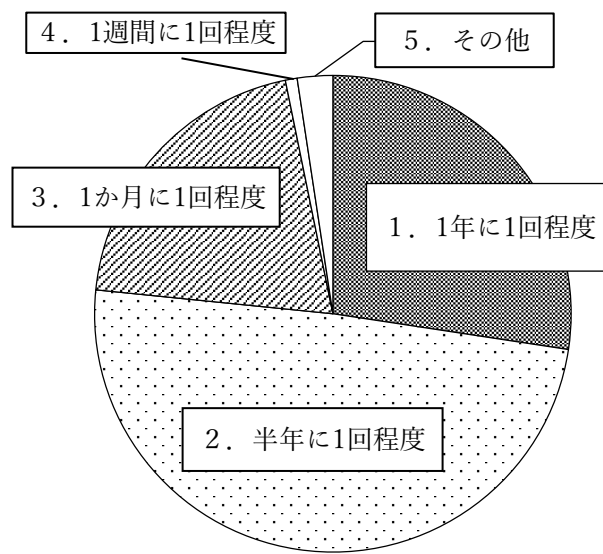


【問14で「2. 機会があれば参加したい」と答えた方へおたずねします。】

問14-4 どのような頻度であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。

(☑は1つ) (n=124)

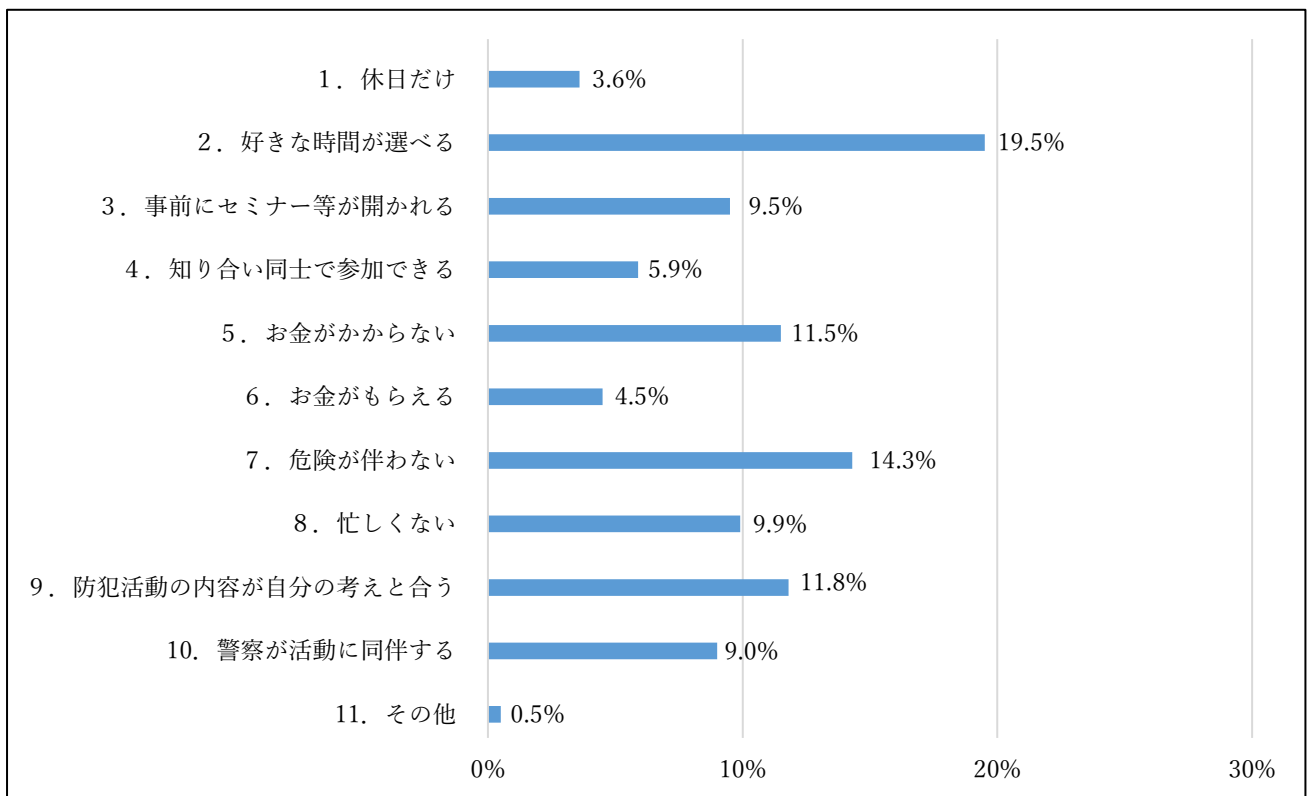
選択肢	回答数	割合
1. 1年に1回程度	34	27.4%
2. 半年に1回程度	61	49.2%
3. 1か月に1回程度	25	20.2%
4. 1週間に1回程度	1	0.8%
5. その他	3	2.4%
合計	124	100.0%



問 14-5 どのような条件であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。

(☑はいくつでも) (n=126)

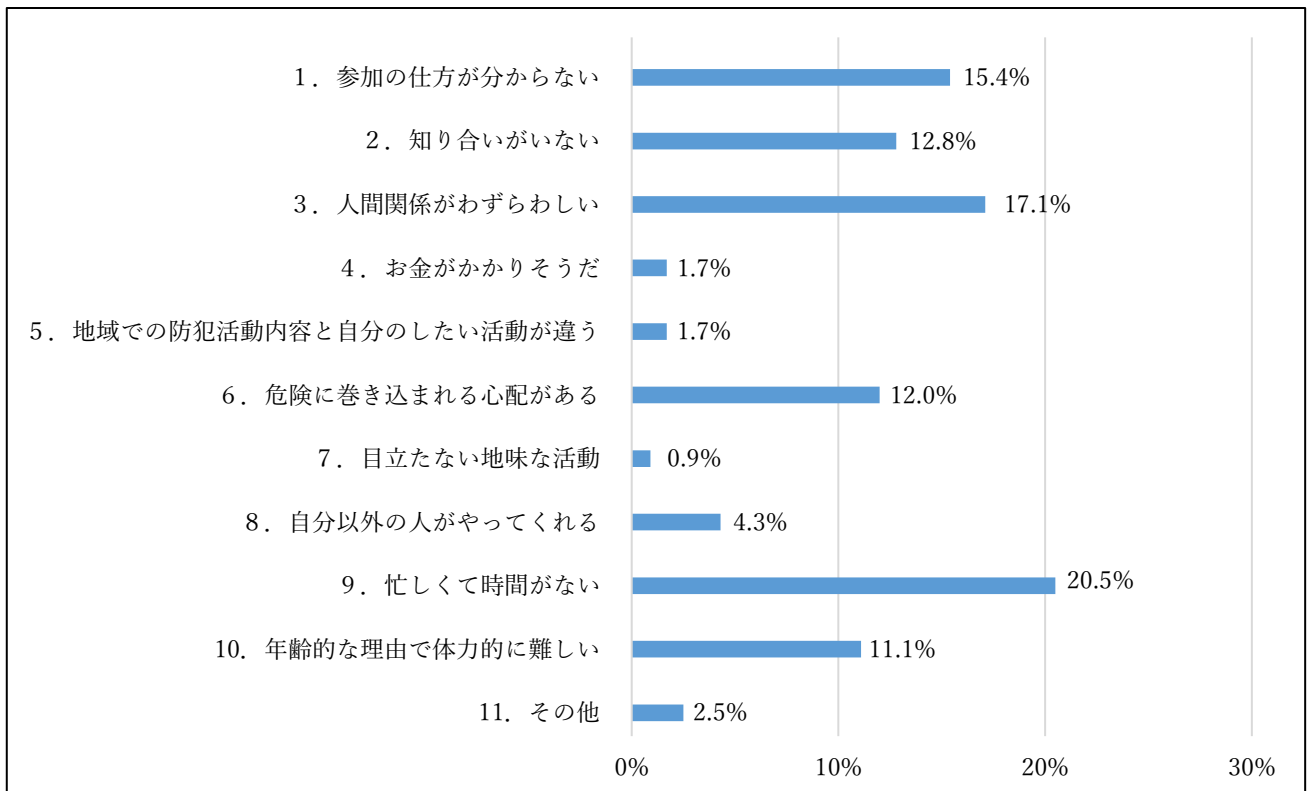
選択肢	回答数	割合
1. 休日だけ	16	3.6%
2. 好きな時間が選べる	86	19.5%
3. 事前にセミナー等が開かれる	42	9.5%
4. 知り合い同士で参加できる	26	5.9%
5. お金がかからない	51	11.5%
6. お金がもらえる	20	4.5%
7. 危険が伴わない	63	14.3%
8. 忙しくない	44	9.9%
9. 防犯活動の内容が自分の考えと合う	52	11.8%
10. 警察が活動に同伴する	40	9.0%
11. その他	2	0.5%
合 計	442	100.0%



【問14で「3. 参加しようと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問14-6 参加しようと思わないその理由を教えてください。(☑はいくつでも) (n=48)

選択肢	回答数	割合
1. 参加の仕方が分からない	18	15.4%
2. 知り合いがいない	15	12.8%
3. 人間関係がわずらわしい	20	17.1%
4. お金がかかりそう	2	1.7%
5. 地域での防犯活動内容と自分のしたい活動が違う	2	1.7%
6. 危険に巻き込まれる心配がある	14	12.0%
7. 目立たない地味な活動	1	0.9%
8. 自分以外の人ができる	5	4.3%
9. 忙しくて時間がない	24	20.5%
10. 年齢的な理由で体力的に難しい	13	11.1%
11. その他	3	2.5%
合計	117	100.0%



問 15 防犯や安全安心街づくりについての意見を、ご自由にご記入ください。

※内容別等に分類し、以下の通りまとめさせていただきました。

今後の業務運営の参考とさせていただきます。

【街灯や防犯カメラの設置に関すること】

- ・節電との兼ね合いもあるが、街灯の少ないエリアについて簡易的な街灯の設置や見回りを強化してほしい
- ・最寄りの警察署及び交番、町内会、学校、コンビニ等の方と連携し、こまめな地域防犯に関する情報の取得、犯罪を防止するための連携を図っていく必要がさらにあると思う。街灯の整備、夜回り活動等が必要。
- ・夜遅くや冬になると、最寄り駅から自宅までの道路の街灯が少なく暗いのがいつも怖い。街灯を増やし明るい道路にするだけで、痴漢や変質者、ひったくりの防犯になると思う。
- ・マンパワーを投入しての防犯活動が一番効果的ではあるが、警察も行政も地域（個人）もそこに割ける余力がないと思うので、現実的には街路灯に一定割合で防犯カメラを設置していくことが抑止力の向上、捜査検挙率の向上ひいては地域防犯力の向上につながると思う。
- ・日中は人の往来があるし、お店や会社も営業しており、あまり不審者の不安はないが、夜間は街灯が少ない場所や路地、公園等には防犯カメラや街灯が増えれば少し安心につながると思う。

【防犯パトロールや見守り活動に関すること】

- ・安全な街づくりに防犯パトロールは欠かせないと思う。
- ・地域をきれいに保つ取り組みやパトロールは防犯の為に必ず必要だと思うので、町内等でそういう取り組みを行っていくことも、近所との接点が生まれる等の利点を考えれば必要だと思う。
- ・子どもが外で元気に遊べるためには、PTA や町内会の防犯パトロールはとてもありがたいので、これからも続けて欲しい。
- ・人や車の通りがあるところは良いが、住宅街や死角になる場所等は不定期なパトロールが必要。警察官とすぐにわかる人が巡回（業務が多忙で時間を割けないのであれば、勤務時間内でなく休憩中の買い物や通勤時で構いません）してくれると抑止効果があるのではないか。
- ・登下校時の高齢の方のパトロールや誘導はかえって危ない場面も多いと思う。
- ・児童の登下校の通学路の見守りやパトロールは見かけるが、日中歩いている人は少なく感じる。散歩かたがた街を歩く人が増えると、いろんな人の目が増えて安心感につながるように思える。街を歩く催し等があるといい。
- ・子ども達の登下校時の車の事故や不審者等も心配。一人では出来ることが限られるので、地域や学校単位で見守りができるとありがたい。
- ・以前に八戸市内に勤務していた時に、月 1 回程度の会に参加し、児童の登校時の見守りや夜間パトロール(チームを組んで)等を行っていた。
- ・小学校や中学校の登校時に、ボランティアで信号機の近くで見守りをしてくださっている方がいて、安全に登校することが出来てありがたかった。

【町内会や地域との連携、コミュニケーションの強化に関すること】

- ・地域防犯には住民同士のコミュニケーションが欠かせないと思う。日頃からコミュニケーションが盛んにとられている地域であると認識されれば、犯罪する側からみると避けたい地域になるのではないかと。理想なのは悪い人がウロウロできない地域になること。
- ・町内会での役員分担で設置している防災・防犯係を積極的に活用すればいいと思う。
- ・空き巣泥棒が団地内で発生しているという情報が最近多く不安を感じている。鍵をしっかりとかける、夜間は出ない。家の周りはきちんと片づける等また、近所の方々とも情報を共有すべき。
- ・各家庭が自分の家の周りをキチンと手入れし、近所同士で声を出してあいさつをする等、普段からみんなが気持ちよく暮らしていけるようにすることが防犯にもつながると思う。
- ・他人に無関心になりすぎず、周辺地域のことに目を配る意識が大切と思う。都市部の出入りの多い地区は、近隣の住民同士でも顔を知らないことも多い。わずらわしさと紙一重だが、もう少し地域のつながりがあって良いのではないかと。現在の賃貸住宅では町内会からの連絡もなく、どなたが役員かも知らない状態である。
- ・私の住んでいる地域は防犯及び安全な街づくりの活動が積極的で、おかげで比較的安心して子育てできたことがありがたく思っているし、感謝している。他地域の方からすると、うらやましいと言われたりするが、立派な意見・意識の方と押しつけがましい意見の方とどちらも混在し、若い私は痛い思いをしたので、自分が参加するのは辛く思っている。元気な高齢者の方が積極的に交流を持ち、防犯や安全安心な街づくりの礎を作ってくれたことはありがたいと思っている。
- ・地域の住民、特に新しく引越してきた住民と挨拶ができる程度の交流が必要と感じる。
- ・昔は隣近所で助け合ったり、支え合ったりしてきたが、今賃貸の集合住宅に住んで近所付き合いはほとんどない。防犯活動を通し住民同士が顔見知りになったり、世代間交流ができれば良い。
- ・お互いの顔の見える地域づくりが大切。知っている顔が増えることにより、気付く変化や不自然さを感じ取るセンサーが働くようになり、地域の他者への思いから、安全安心に関心が向かうようになっていくと思う。その地域に暮らす人々が、やはり一番細部に気付き、その情報から本当に活かされる防犯安全安心対策が見つかり、生まれるはず。
- ・個人情報は大変だと思うが、地域の人限定で名字のみが書いてある地図があると良い。引越してきて店の情報も分からない。前の地域ではあった。名字のみなら情報も特定されないと思う。
- ・パソコンや携帯の普及によって今の世の中犯罪が多く、一度死んでも生き返るようなゲームなどがあり、簡単に死というものを考えているように思う。また、親も子どもに対してもっと家庭での教育を見直すべきだと思う。親も見ることがない人には、絶対についていけないなど子どもとのコミュニケーションをもっと取り、近所でも顔を見たらあいさつをするなど、大人が子供に対し見本を示すようになれば良い。
- ・団地も高齢化が進み、町内会活動も形骸化してきている。地域の現状がつかみにくくなっている。空き巣や盗難等も後日知ることが多い。個人情報と言われ久しいが、防犯・安全のために

地域全体で取り組める、顔を合わせられる機会が増えるといいと思う。

- ・今の社会、コロナ禍ということもあり、いつ何が起きてもおかしくないくらい皆が疲れているように思う。まずは、自分のことは自分で守る、笑顔第一に近所で声をかけ合えれば良いと思う。

【警察署との連携、交番に関すること】

- ・最寄りの交番にふだん署員が不在のことがある。恐らく見回りに出ていると思われるが、交番にはある程度いてほしい。パトロールもしてほしいので、1人体制では無理だと思う。複数体制にするか、もしくは近場の複数体制の交番と連携する、毎日だけでなくも応援体制を設けるなど対応できないものか。
- ・派出所の設置で防犯効果が強くなると思う。東西線の駅前周辺には派出所が必要ではないか。
- ・犯罪を未然に防ぐには個人の力では限界があると思うので、警察と仙台市・区が一体となって取り組んでほしい
- ・子育て中はPTAがしっかりと組織してあり、ルールを守り仲間と活動していた。町内会の際は防犯部があり、やはり活動的であった。現在は集合住宅におり、交番には必ずおまわりさんが一人でいいからいてほしいと感じる。

【高齢者への対策に関すること】

- ・連日のように犯罪が発生している。基本は安心して生活できる経済社会を作ることがベスト(生活に困っての犯罪も多いのではないかと考えていて、自己責任という名のもとの不平等社会を是正せねば解決しない)。また、振込詐欺が連日報道されているので、教育も含めた高齢者対策などが本当に重要と思う。
- ・お年寄りが多くなってきており、地域の人だけで防犯に取り組むには難しくなりつつあると感じる。
- ・近くにドラッグストアが開店し、これまで見かけない人が増えた。この店へ多くが車で来店するため交通量も増えた。また、この店へ行こうと高齢者の歩行者が横断歩道がない片道二車線を渡っている。いずれ交通事故が発生すると思う。便利になるとさまざまな影響があることを今回知ることができた。
- ・団地が高齢化し一人ぐらしが増えている。空き家もある。若い人や女性を含めたバランスある防犯組織を町内会ごとに設置してほしい。

【意識啓発に関すること】

- ・自分の住んでいる地域から犯罪や盗難をなくし、安心して住めるようにするには住民の意識が大切と思う。
- ・個々人や町内会等がどんな取り組みをしたら安心安全な街づくりにつながるのか。行政は警察と連携しながら市民を啓発してほしい。
- ・人口が多く若者が多い仙台だが、治安は良く安全安心の印象が強い。しかし防犯の意識は自分も含め多くはないと思われ、気軽に手軽に参加できる防犯月間のようなものがあるといい。

- ・大人はもちろん、子ども達に防犯意識をきちんと伝えていくことが大切。わが家は小学生の子どもがおり、自分の身を守ることの大切さや危険な行動をとらないように、あれやこれやと話して聞かせるようにしている。
- ・自分の家だけ被害に遭わなければ良いとは思わず、情報交換をしたり他家にも関心を持つようにする必要がある。
- ・防犯や安全な街づくりを市民が率先して行うという考えが、正直に言うともそもなかつた。もしそういう活動に気軽に参加できるのであればやってみたい。
- ・空き家等について、区役所へ電話し調べてもらっている。私たち市民一人一人が防犯に関心を示し取り組んでいきたい。

【施策の検討・助成金に関すること】

- ・子どもへのつきまといや空き巣が入った等は、近所や学校からのメールで知るが、その後犯人が捕まったのかは分からない。パトロールの強化を依頼すると学校は言うが、何か起こった後にパトロールしても、そこに犯人は現れないのではないかと。起こらないような対策を立てるのがいいのではないかと思う。
- ・町内会でもやっているが、対策の指針を示し、一部助成金の交付をしてはいかがか。
- ・以前、町内会の防犯担当になり地域での防犯の大切さを感じた。ただ担当者だけの負担が大きいく実際大変だった。また町内会ごとの取組みにも差があり、それはそれでやりやすいのかとも思うが、ある程度市としての町内会防犯に対するマニュアルみたいなものがあるといい。
- ・コロナ禍であることもあるが、町内で高齢世帯とそれ以外の世帯、アパート世帯との連携が取れていない(いざという時の動きが見えない)。今後、町内行事をきっかけとして連携のあり方を考えていきたい。行政側をお願いしたいのは、①連携成功事例の開示②町内行事(お祭りなど)で使用する道具(ステージとか)の貸し出しの補助を考えてほしい。

【適切な維持管理や環境の整備に関すること】

- ・マンションや空き地等に雑草が生い茂っていると管理できていないのではないかと不安になる。
- ・街路樹が街灯の明るさを暗くしていることが多いので、伸びすぎる前に枝の剪定を願う。樹木の根で盛り上がっている歩道の段差も平らにしてほしい。
- ・子どもの通学路にガードレールをつけてほしい。大学の駅までの徒歩途中のため、ゴミのポイ捨てがとても気になる。
- ・ゴミの放置一つから少しずつ人の心の荒みは始まると考えるので、まずは「自分たちが住んでいるところをきれいにする」が大前提(そのためには、歩道の雑草等、環境整備との連携も必要)。そして、住民一人一人が他人事と感ぜないよう意識を育てる働きかけが重要(挨拶すると怪訝な顔をされることが多い。そういう希薄なつながりだと、どんな犯罪が起きても不思議はないし、起きても他人事ですんでしまうと思うから)。
- ・子どもが小中学校に通っていた頃は、学校からの一斉メールで不審者情報やクマ出没のメールがあり知ることができたが、卒業してしまうと、近所での情報がすぐに入らないことに不安を

感じた。防災無線があれば誰にでも（スマホなどを持たない人にも）早く伝わるので、全ての地域に整備してほしい。

- ・地域で発生した犯罪をリアルタイムで伝えるシステムがあると良い。小中学校に在籍していないと、回覧板等で後日談としてしか知ることができない。
- ・危険な場所や危険と感じることを、電話で気軽に匿名で話せるところがあるといい。
- ・盗難、殺人等、毎日のように報道されるようになり、子どもの虐待、いじめ、非行やホームレスなども増加している。これらのことと、格差が広がり子どもも含めて生きて行くのが難しい世の中になっているのと無関係ではないように思う。子どもを取り巻く環境、真面目に働いていけば暮らしていける環境などを整えて行くことが犯罪をなくす近道だと思う。
- ・細街路の路上駐車が災害時に問題になる場合がある。特に夜間時の路上駐車をなくす手段が必要ではないかと思う。
- ・「止まれ」の文字が消えかかっている道路が気になる。また、草が伸び放題の道や空き地等、不安がある。

【情報発信や広報に関すること】

- ・防犯対策として市が何を行っているかわからない。具体的な実績をアピールする必要がある。
- ・LINE（仙台市公式）などで伝えてほしい
- ・連続空き巣被害、車上荒らしなど、自分の近所で起きているのか、よくわからないし、町内会を通じて起きているならリアルタイムに教えてほしい。
- ・各家庭への情報周知が十分にされていないのかなと感じた。自治体から各町内会への働きかけなどをすると少しは変わるのではないか。
- ・防犯対策はたくさんあるが、費用もかかるのでどこまでやったら良いか分からない。実際に効果のある防犯対策を教えてもらえる機会があると嬉しい。
- ・具体的にどのようなことが防犯につながるのか知りたい。地域や町内会とあまり関わりがないので難しい。
- ・近所にも事件が発生したのを知らないでいる時もあるので、広報車でまわるとかお知らせの回覧を回すとかで周知してほしい。
- ・地域でいろいろ勉強会に参加できるといいなと思う。
- ・地域の防犯や街づくりなど、活動していることがわかるようにするといいと思う。活動していると思うと住民としても安心材料になるし、犯罪しにくくなるのではないか。
- ・月 1 回の回覧板(地域の交番だより)に、地域で起きた交通事故や犯罪(空き巣、窃盗など)の件数や情報が載っている。身近で起きた出来事だけに関心度は高い。このような地域密着型の情報も注意喚起に必要だと思う。

【外国人に関すること】

- ・若い外国人の方が多い地域で、自転車専用レーンの逆行等も見受けられ非常に危険だと思っている。地域住民や児童見守り交通指導の父兄らはトラブルになったことがあるらしく、関わり

ないようにしているようだ。きちんと外国人への交通指導をふだんからしてほしいと思っている。

- ・自動車及び自転車の交通ルール取り締まりを強化する。近年、外国人が街に増えたため、自転車の逆走行が多々あり、通行が怖いときがある。外国人のマナーの悪さへの注意及び指導など、安全面が確保できなければ、安心な仙台市にはならないと思う。

【その他（課題と感じていること等）】

- ・活動をやってくれている方々にはありがたいと思うが、高齢者中心で活動しているというイメージがあり、そこに自分が入っていけるか不安なので、なかなか手を挙げられない。
- ・防犯対策も必要と思うが、一般住民同士が関わることによって、家族構成や職業等を他人に問われるのも面倒くさい。
- ・町内会はあるものの、中心となっているのは高齢の方が多い。若い世代は忙しいこともあり、積極的な参加には至っていないように感じる。
- ・同居家族の年齢によって防犯意識に差が出ると思う。
- ・隣近所との交流がほとんどなく、回覧板もポスティングするだけで、町内の見直しが必要だと思う。しかし難しいような気がする。防犯や安全な街づくりには隣との交流を広げていかなければならない。どうしたらいいものか。
- ・町内会の役員をしているため、参加は積極的にしているがとにかく協力者が少ない。みな関心はあるのだろうが。
- ・大人でも時代とともに人とのつながりが薄れてきている。せめてあいさつを交わし、お互いに安全安心を確認し合っている。それは小学生くらいの子どもたちにも伝えたいと思っているが、「おかえりなさい」の声かけに返す子どもも少なくなってきている。「知らない人に声をかけられたら逃げる」の教育のためか。親や学校とで話し合っはいかがか。地域で子どもを守るためにどうしたらいいのか等。
- ・今のところ地域の防犯に特に不安を感じていないが、いざという時のために備える勉強はしておきたい。